



「土の器」は、こころと生活に役立つ週替わりコラム。HPからもバックナンバーをお読み頂けます。

本日はチャペル・コンサートによるご越さりました。心から歓迎いたします。最近読みました書物にこんな素晴らしい言葉を発見しましたので紹介します。

「**ひとつひとつのことを本当にいねいに両手でいただいて、たとえそれが病気であっても、災難であっても、挫折であっても、また人からの裏切りであっても。ほんとに悲しい、つきかえしたい、そのひとつひとつを両手でいただく。神様は力に余る試練を、決してお与えになりません**」

こう語っていた、シスターの渡辺和子さんは、2016年に89歳で召天されました。亡くなる直前まで教壇に立って、若い人たちに「よりよい生き方」を説いていたのです。

渡辺さんは、1927年(昭和2年)、北海道の旭川で生を受けました。父は、渡辺錠太郎。1936年に陸軍の青年将校が武装蜂起して要人を殺害した二・二六事件の、犠牲者のひとりです。当時9歳だった渡辺さんの、目の前で射殺されました。

激動の幼少期を過ごした渡辺さんは、1945年4月、太平洋戦争が続く中、18歳で母の大反対を押し切り、キリスト教の洗礼を受けます。そして1956年、29歳の時に、シスター(修道女)になりました。修道院からアメリカへ派遣され、大学院で博士号を取得して帰国。36歳で、岡山市にあるノートルダム清心女子大学の学長に任命され、やがて学園の理事長となります。68歳の時には、膠原病(こうげんびょう)をわずらい、薬の副作用で背中の骨を損傷。身長が14センチも縮み、重いものが持てなくなってしまうのですが、病さえも「神様の賜物」と受け入れていたのです。

「**若さは永遠ではなく、老いてくるとさまざまなものが自分から離れてゆく。しかし齢を重ねることで初めてわかることもある。ふがいない自分と向き合って、仲良く生きていくことが大切だ**」 渡辺和子シスター85歳の時の言葉

これは、NHKこころの時代で放送されたものを書籍化した『ふがいない自分と生きる』(金の星社)の序文からの引用です。私たちも「ふがいない自分」に出会うとき、シスター渡辺に倣って、開き直ったり、居直ったり、はたまた諦めたりするのではなく、しっかり向き合ってゆく「こころのゆとり」を頂きたいものです。

そのためにも神さまがくださる小さな出逢いを、「**丁寧に両手でいただいて**」、大切にしてゆきたいと思う次第です。牧師 倉知契



渡辺和子シスター

# チャペル・コンサート

Moeko Chiyozaki  
Stephanie Kwak

2019年7月28日(日)

## オープニング・ゴスペル

「God is so good/Amen/Amazing Grace」

黙祷と祈り

讃美歌 209「慈しみ深き」

主の祈り

【演奏】

謝肉祭(シューマン作曲)より抜粋 Liner Note 別紙

3つのロマンスより第2番(シューマン作曲)

主の祈り(マロツテ作曲)

おはなし「丁寧に両手でいただいて」

ヨハネによる福音書3章16節

祈りと賛美「驚くばかりの恵み」(自由献金)

祝祷・報告

【演奏】

カルメン幻想曲(ビゼー作曲、ボルン編曲)

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 今日も昼食(200円)あり。数に限りがありますのでご了承ください!
- ◇ 今週の祈禱会は木曜10時半～お祈りについて「学び・実践する」ひととき
- ◇ **8月9日(金) ジョイキッズ・一日デイキャンプ** at 少年自然の家(申込みは今日まで)
- ◇ 9月から始まる「**子ども英語教室**」「**マナ・ウクレレ教室**」の申込み受付中。
- ◇ 半年守られたことを感謝して「**上半期感謝献金**」を致しましょう。袋は受付に。

次聖日礼拝奉仕者 [平成31年8月4日] [説教&PPT:倉知契牧師]  
 [リード:小島誠兄 ピアノ:小島明美姉 アシスト:]  
 [受付・聖書朗読:] [献金:]  
 [PA:平松章治兄・岡前順勝兄 ホームページ&YouTube編集:大神真伸兄]  
 [ジョイキッズ(9:30):片岡立子姉・持田樹理姉・加藤貴成兄・武藤詩奈姉・倉知めぐみ姉]

- ◇ **メディア・ミニストリーズ** ・主日礼拝と木曜祈禱会を YouTube で配信中。

- ◇ 定期集会

- ・ 日曜礼拝:午前10時50分～(ジョイキッズ:午前9時30分～)
- ・ 木曜祈禱会:午前10時30分～



facebook



- ◇ ご連絡

- ・ 〒489-0909 瀬戸市みずの坂5-64 電話:0561-48-8899
- ・ 担任牧師:倉知契 (主任牧師:大川従道)
- ・ メール [kei@yamatocalvarychapel.com](mailto:kei@yamatocalvarychapel.com)
- ・ ホームページ <http://setocalvarychapel.in.coccan.jp/>

### 駐車場の使用についてのお願い

みずの坂クリニック様の駐車場をご厚意で私達の教会は使用させて頂いておりますが、基本的に**第一駐車場は使用禁止**です。  
 特別な集会の時にのみ、お借りしています。**通常の日曜日は第二・第三駐車場をご利用下さい。**しかし常に**第一・第三駐車場の屋根の下は駐車禁止**です。徹底をお願いします。



Moeko  
Chiyozaki



Stephanie  
Kwak

## チャペル・コンサート 7月28日(日) 瀬戸カルバリーチャペル

### 千代崎萌子(ピアノ)

広島県出身。3歳より「イエス様のために」とピアノを始め、小学校6年生ごろから音楽家になりたいと志す。広島女学院中学高等学校卒業後、エリザベト音楽大学に特待生として入学する。三年次には上智大学哲学科に交換留学。卒業後は渡米し、イリノイ州立大学で修士、マンハッタン音楽院で Professional Studies Certificate を取得。現在はニューヨーク州立大学ストーニーブルック校の博士課程に在籍しつつ、学部生に副科ピアノを教えている。これまでに廣澤久美子、柴田美穂、Dr. Geoffrey Duce、Phillip Kawin、ロトー三代子、Gilbert Kalish の各氏に師事。

### クワク・ステファニー(フルート)

「素晴らしいダイナミクス」と「強く、クリアな音質」(National Flute Association Chronicles)で知られるクワク・ステファニーは、シカゴで生まれ、韓国で育ったフルーティスト。音楽的な環境で育ち、ピアニストの母親が様々な室内楽グループを教えていたのを聞いたのをきっかけに、フルートに惹かれて10歳からこの楽器を始めた。一年後、ソウルの芸術センターの Prodigy Program に選ばれ、後にジュリアード音楽院にてキャロル・ウィンセンズに師事し、学士と修士の各学位を取得。そして2019年5月、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校にて博士号を取得。